

製品名: Wnt5a ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02775**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.68mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 42 kDa; Observed MW: 45 kDa

抗原情報

遺伝子名	WNT5A
別名	WNT5A; Protein Wnt-5a
遺伝子 ID	7474
SwissProt ID	P41221
免疫原	ヒト Wnt5a の合成ペプチド

背景

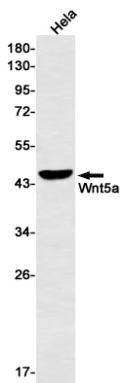
7つの膜貫通型受容体からなる frizzled ファミリーのメンバーに対するリガンド。受容体のコンテキストに応じて、標準的な Wnt シ

グナル伝達を活性化または阻害する。FZD4 存在下では、 β -カテニンシグナル伝達を活性化する。ROR2 存在下では、 β -カテニン誘導性レポーター遺伝子発現のダウンレギュレーションを伴う GSK3 非依存性経路を介して β -カテニン分解を促進することで、標準的な Wnt 経路を阻害する。

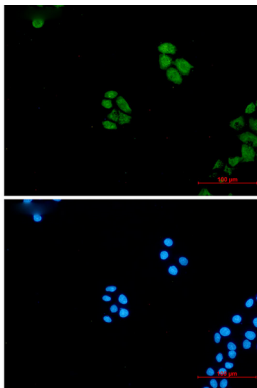
研究分野

神経科学

画像データ



Wnt5a 抗体を使用した HeLa 溶解物中の Wnt5a のウエスタン ブロット分析。



Wnt5a 抗体と DAPI (青) を用いた HeLa 細胞中の Wnt5a (緑) の免疫細胞化学分析